

がんになっても、安心して暮らせるまち・かしわ

柏市民のための がんサポートハンドブック



【目次】

- 「がんに関する相談先」について・・・ 1～2,13ページ
- 「小児・AYA世代のかたにむけた支援」について・・・ 3ページ
- 「自宅での生活や療養・子育て」について・・・ 4～7ページ
- 「治療と仕事の両立」について・・・ 8ページ
- 「経済面での各種支援」について・・・ 9～10ページ
- 「役立つ情報」について・・・ 11～13ページ

柏市

令和8年4月

1 あなたや家族を応援します ～お気軽にご相談ください～

がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口です。柏市内に2ヶ所あります。

看護師・ソーシャルワーカー等が、
面接や電話でのご相談に応じています！

さまざまな活動を実施

- 市民公開講座の開催
- 患者交流会の開催

相談内容例

- がんの診断、治療や副作用、治療後の療養生活、
お金や仕事、学校のこと、家族や医療者との関係、
疑問や心配、不安など、どんなことでも相談できます。

各病院の受診歴がない
かたでも、診断や治療の状況に
関係なく、どんなタイミング
でも利用できます。



国立がん研究センター東病院

サポータィブケアセンター／
がん相談支援センター

☎ 04-7134-6932 (直通)

- 受付時間：午前8時30分から
午後5時15分まで
※月曜日から金曜日（祝日除く）
- 場 所：柏市柏の葉6-5-1
「病院棟2階呼吸器外来前」

東京慈恵会医科大学附属柏病院

がん相談支援室・緩和ケア室
(がん相談支援センター)

☎ 04-7167-9739 (直通)

- 受付時間：午前9時から午後4時まで
※月曜日から土曜日（祝日除く）
※土曜日は窓口相談のみ
- 場 所：柏市柏下163-1
「1階放射線部受付前」

近隣のがん相談支援センター

・松戸市立総合医療センター

場所：松戸市千駄堀993-1

☎ 047-712-2511

がん診療連携拠点病院とは

全国どこでも「質の高いがん治療」を提供することを目指して、各都道府県知事からの推薦、さらに検討会の意見を踏まえて、厚生労働大臣が指定した病院です。専門的ながん医療の提供、がん診療の連携協力体制の整備、患者さんへの相談支援や情報提供などを担う役割があります。

電話・面接相談窓口

日本対がん協会 相談料は無料ですが、電話代はご負担ください。

がん相談ホットライン

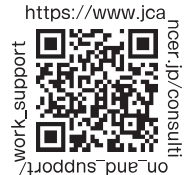
☎03-3541-7830

- 看護師・社会福祉士が患者さんやご家族、友人等からのがんに関する相談に応じています。
- 受付：毎日（年末年始除く）
午前10時～午後1時
午後3時～午後6時
- 電話相談（予約不要）
- 相談時間：原則20分

社会保険労務士による就労相談

- 職場への伝え方や、利用できる制度、経済的なサポートが自分に適用されるかなど、ぜひご相談ください。
- 電話相談（予約制）
- 相談時間：40分

予約はこちらから⇒



千葉県地域統括相談支援センター

千葉県内のがん診療連携拠点病院等に設置されているがん相談支援センターと協働し、がん相談支援をしています。

☎043-264-5431（内線7148）

- 受付：平日月曜～金曜 午前9時から午後5時



ちょっと相談してみませんか？

「がん相談支援センターってどんなところ？」と思われるかたも多いのではないのでしょうか？
がん相談支援センターでは、診断や治療について判断することはできませんが、専門のがん相談員が、患者さんや家族の情緒的な支援や情報提供者として、がんになっても、安心し生活が送れるようお手伝いをいたします。

Aさんはがん相談支援センターを訪問し、相談員に今の気持ちや疑問なことをお話しし、足りない情報を収集することで、手術・術後生活へのイメージが付き、最後は手術への意思決定をしました。現在は仕事にも復帰され、自分らしい生活を営んでいます。

仕事を休む日が
続いているため、
仕事を辞めようか
迷ってる

セカンドオピニオンは
どこで受けられるの？



1人で悩まず、お気軽に「がん相談支援センター」へご相談ください。

東京慈恵会医科大学附属柏病院 がん相談支援室・緩和ケア室（がん相談支援センター）

小児・AYA世代のかたに向けた支援

AYA 世代とは、Adolescent&Young Adult（思春期・若手成人）の略で、15歳から39歳のかたを指します。

千葉県がん・生殖医療相談支援センター

がん治療等を受ける小児・AYA世代の患者さんの妊孕性（温存療法）について、患者さんご家族からの相談やがん治療を提供する医療機関への情報提供等を行っています。

病院の
受診歴がないかた
でも、気軽に利用
できます。

千葉県がん・生殖医療相談支援センター（千葉大学医学部附属病院内） 場所：千葉市中央区亥鼻1-8-1
問い合わせ先 ● ☎043-226-2749

詳細はこちらから⇒



千葉県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療に要する費用の一部を助成します。

対象 ● 子どもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん等の患者のかた

問い合わせ先 ● 千葉県健康づくり支援課 ☎043-223-2402・2686

詳細はこちらから⇒



若年がん患者在宅療養支援事業

がんと診断された40歳未満の方に対する助成制度です。（詳細はP6）

国立がん研究センター東病院「LIFE支援センター」

女性がん患者さんが「その人らしい生活」を送れるよう最適な医療とサポートを提供するため、「LIFE支援センター」が設置されています。また、「AYA看護外来」では、AYAがん患者さんの治療の影響による悩みや、ご希望など丁寧に面談をして把握します。



さまざまな相談に多職種で対応しています。

- 遺伝カウンセリング
- 妊孕性（※）の相談・対応
- 脱毛など治療に伴う外見の変化の相談・支援
- リンパ浮腫を含むリハビリテーションの必要性の評価と対応
- 治療と仕事や育児との両立
- AYA世代のがん患者さんや子供のサポート など

（※）妊孕性（にんようせい）とは

妊孕性とは、妊娠する力のことです。がんの治療によって、男女とも、妊孕性が低下することがあります。妊孕性に関する不安や疑問は、未婚・既婚を問わず、治療を始める前に確認しておくことが大切です。患者さんの配偶者やパートナーも含めての相談を受け付けています。

2 自宅での生活や療養・子育てに関すること

緩和ケアについて ～診断された時から看取りまで～

「緩和ケア」とは、重い病を抱える患者やその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。

～この文章は、日本緩和医療学会が作成した「市民に向けた緩和ケアの説明文」です～

柏市では、緩和ケアを専門的に受けられる「緩和ケア病棟」、在宅医療を支える「在宅医療チーム」と「支援病院」、相談窓口である「柏地域医療連携センター」が連携し、患者さんやそのご家族を支えます。また、専門的な立場の「がん診療連携拠点病院」が相談を受け、助言を行う体制も整えています。



コラム 2

在宅緩和ケアを体験して

私は世界で一番大切な人を、胃がんで亡くしました。その彼が最後に選んだ自分の居場所は、大好きな家族がいる自宅でした。しかし、彼の望みを叶えるために、何から始めれば良いのかわからず、まず、通っていたがんセンターの相談窓口で聞いてみることに。すると、数時間後には、自宅に出向いてくれる医師・看護師、色々なことが一気に決まりました。私は翌日から自宅で彼を看とるための準備をし、形は整い、あとは残りの時間を家族で過ごし、彼に寄り添う。とても美しいことに見えますが、この選択も現実も、辛いことや悲しいこともあります。しかし、12歳と10歳の娘にも全てを見てもらい、そして受け入れてもらう。命を考え、大好きな父親とどんな姿であれ、一緒に過ごして欲しかった。人は「大変ね!」と言うけれど、我が家では、日一日、死へ近づいている日々とは思えないほどの、とても穏やかで普通の日常、そしてそこには、愛しい夫婦の最後の時間がゆったりと流れていました。しかし、その時はきてしまいました。それはとても自然の流れの中での出来事でした。娘達も当たり前を受け止め、取り乱すこともなく、「やっと、父ちゃんラクになれたね。」と。皆、やりきったのだと思います。最期というものは、本人にとっても、残される家族の未来のためにも、とても大事な時間だと思います。私も、きっと彼も、在宅という形にして良かったと、心から思います。(柏市在住、40歳代女性)

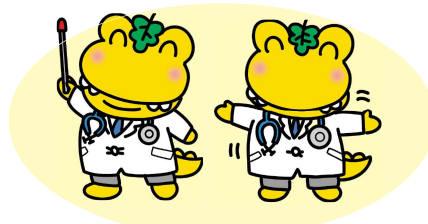
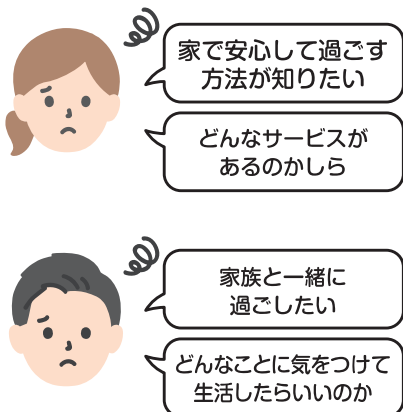
柏地域医療連携センター

柏地域医療連携センターは、在宅医療を含めた地域医療を推進する拠点施設で、柏市が運営する総合相談窓口があり、在宅医療に関する相談及び在宅医療における専門職の調整に関する相談に応じ、市民の皆様が安心して療養生活を過ごせるように支援しています。



【参考】在宅医療とは？

様々な分野の専門職が必要な時にご自宅にお伺いし、在宅での生活をサポートします！



医師 (訪問診療)	看護師 (訪問看護)	管理栄養士 (居宅療養管理指導)
薬剤師 (居宅療養管理指導)	歯科医師・歯科衛生士 (訪問歯科診療)	介護支援専門員 (介護保険制度の調整役)

柏市地域医療推進課

☎ 04-7197-1510

柏市ホームページは
こちら↓

1階

- 機能1** 在宅医療や介護に関する相談・在宅医療に関する市民向けの啓発
- 機能2** 在宅医療が必要な方へ医師等の専門職の調整に関する相談支援
- 機能3** 医療と介護の多職種連携推進のための研修会や会議の開催

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/hokenkenku/zaiteku/index.html>



2階

- 柏市医師会** ☎ 04-7128-5551 病院、訪問診療等の情報
- 柏歯科医師会** ☎ 04-7147-6500 訪問歯科診療等の情報
- 柏市薬剤師会** ☎ 04-7142-7376 在宅受入薬局等に関する情報

オストメイト対応トイレ

市では、ストーマ（人工肛門、人工膀胱）を造設したかたに対するバリアフリーの一環として、市役所やウェルネス柏などの公共施設にオストメイト対応トイレを設置しています。

設置している公共施設→



その他設置場所（日本オストミー協会ホームページ）→



生活を支援するサービス

介護保険

介護保険の被保険者で、介護認定を受けられたかたは、1割、2割又は3割の自己負担で介護度に応じたサービスを受けることができます。サービスを利用するときは、ケアマネジャーが様々な調整をします。

対象 ● 65歳以上のかたが、要介護・要支援認定を受けた場合

● 40歳～64歳までのかたが、介護保険で定められている

特定疾病により介護が必要となり、要介護・要支援認定を受けた場合

問い合わせ先 ● 柏市高齢者支援課 認定審査担当 ☎04-7167-1134

介護サービス担当 ☎04-7167-1135



介護保険で利用できる ● 訪問介護、訪問入浴、訪問看護 ● デイサービス、デイケア
主なサービス ● 福祉用具の購入・レンタル、住宅改修 ● 短期入所、施設入所など

若年がん患者在宅療養支援事業 ※柏市独自事業

がんと診断された40歳未満のかた（がんの根治を目的とした治療を行わないかた）が、住み慣れた自宅で自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅療養生活に要する費用の一部について支給します。

問い合わせ先 ● 柏市健康政策課 ☎04-7167-1171

身体障害者手帳による助成や支援

病気やけがで一定の障害が残り、日常生活に制限を受ける場合に申請ができます。交付された身体障害者手帳の等級や年齢に応じて、様々な障害福祉サービスを受けることができます。税金の控除や減免、公共交通機関運賃の割引、日常生活用具（人工肛門・人工膀胱等の装着等）の助成等があります。

対象 ● 身体障害者福祉法別表に定める障害の状態にあると認められた者

問い合わせ先 ● 柏市障害福祉課 ☎04-7167-1136

たすけあいサービス

「困ったときはお互いさま」の気持ちで、日常生活上の困りごとを地域のみんなでたすけあう活動です。「体調が優れないので家事が思うようにできない」「外出が大変で買い物に行けない」等のちょっとしたお困りごとに対応します。

たすけあいサービス等団体一覧



活動エリアやサービス内容、利用料金は団体によって異なりますので、
二次元バーコードよりご確認ください。

問い合わせ先 ● 柏市社会福祉協議会 ☎04-7163-1200

子育て中のかたが利用できるサービス

保育園等

保護者が病気の治療のための通院・入院等をする場合、保育園等を利用できる可能性があるのご相談ください。問い合わせ先●柏市保育運営課／保育アシストコール ☎04-7168-1042

かしわファミリー・サポート・センター ※費用がかかります。

保育園、幼稚園、小学校及びこどもルームの開始時間前や終了時間後の預かり、保育施設への送迎等を行っています。※事前の会員登録が必要です。
対象年齢●生後6か月～小学校6年生まで
問い合わせ先●柏市社会福祉協議会 ☎04-7190-5225



子ども短期入所（ショートステイ）

保護者が疾病などで一時的に養育が困難となった時、宿泊又は日帰りで子どもを預けることができます。※事前予約が必要です。
対象年齢●満1歳以上18歳未満
問い合わせ先●柏市こども相談センター ☎04-7167-1458

治療により外見変化のあったかたが利用できるサービス

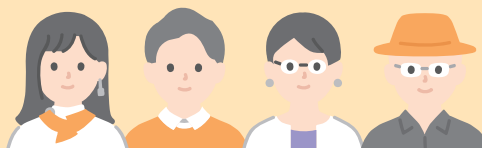
がん患者ウィッグ等購入費等助成事業 ※柏市独自事業

がん治療による外見変化があったかたの精神的及び経済的な負担の軽減や生活の質の向上を図り、社会生活を支援するため、補整具（ウィッグ・胸部補整具・エピテーゼ）の購入またはレンタル費用の一部を助成します。
問い合わせ先●柏市健康政策課 ☎04-7167-1171

クワン
3

アピランスケアを知っていますか？

がんの治療には手術・放射線療法・薬物療法などがあります。治療を行うことによって、髪の毛が抜ける、爪や皮膚の色、手術の傷跡など外見に変化が生じることがあり、そのことで「人の目が気になって、外出する機会が減ってしまった」「自分らしくないと感じてしまう」「人と会う自信がない」などと悩んでしまうことがあります。がん相談支援センターでは、治療中はもちろん、治療前からこのようなアピランスについての悩みを伺い、社会とつながりを持ちながら安心した生活が送れるよう、具体的なケア方法や気持ちの支援を一緒に行っています。



東京慈恵会医科大学附属柏病院 がん相談支援室・緩和ケア室（がん相談支援センター）

3 治療と仕事を両立したい

がんと診断されても、すぐに仕事を辞めないでください

早期発見と治療方法の発見により、多くのがんの生存率は向上しており、働いているかたのうち約7割は、治療と仕事を両立しながら同じ職場に復帰していると言われています。仕事を続けることは生きがいにもつながりますので、辞めてしまう前に、まず相談してみましょう。

「治療と仕事の両立支援」相談窓口

相談は無料

あなたと会社（事業者・人事労務担当者など）との間の調整は医療機関（主治医）とも連携して支援いたします。

千葉県産業保健総合支援センター ☎043-202-3639

受付：平日午前9時～午後4時

千葉ろうさい病院 医療相談室 ☎0436-74-1111

受付：平日午前8時30分～午後0時30分



就労相談

治療を受けながら、仕事が続けられるよう、がん専門相談員と一緒に考え、あなたの職場と連携し、サポートを行います。また社会保険労務士やハローワーク松戸の就職支援ナビゲーターによる出張相談も実施しています。

国立がん研究センター東病院がん相談支援センター ☎04-7134-6932
(ハローワーク出張相談／第1・第3木曜日)

住所：柏市柏の葉6-5-1

4 クラ

仕事とがん治療の両立のために ～よくある誤解と事実～



Q：がんは重症の病気で、就労は難しいのでしょうか？

A：医療の進歩により、がん＝（イコール）死という時代ではなくなってきています。今はがんになったかたのうち62.1%（2006-2008年にがんと診断された患者）のかたが5年以上の生存を実現しています。がんになった後も、仕事を続けられる可能性があるということです。

Q：がん治療を受けながら職場復帰した人はほとんどいない？

A：がんの診断がついた時点で働いていた人のうち、治療後も同じ職場に復帰した人が約70%近くを占めていることが、厚生労働省の研究班の調査（2012年）で明らかになりました。なお、よりスムーズな職場復帰のためには、治療により出ている副作用対策として、変則的な休憩が必要な場合や通院がしやすい勤務体制を組むなど、会社側の協力が必要不可欠です。患者さん自身も、ご自身が受ける治療に要する時間や、その治療により出てくる副作用が職務内容にどのような影響をもたらすのか等、事前に医療者から情報収集したうえで、早めに会社の関係者と情報共有するようにしましょう。

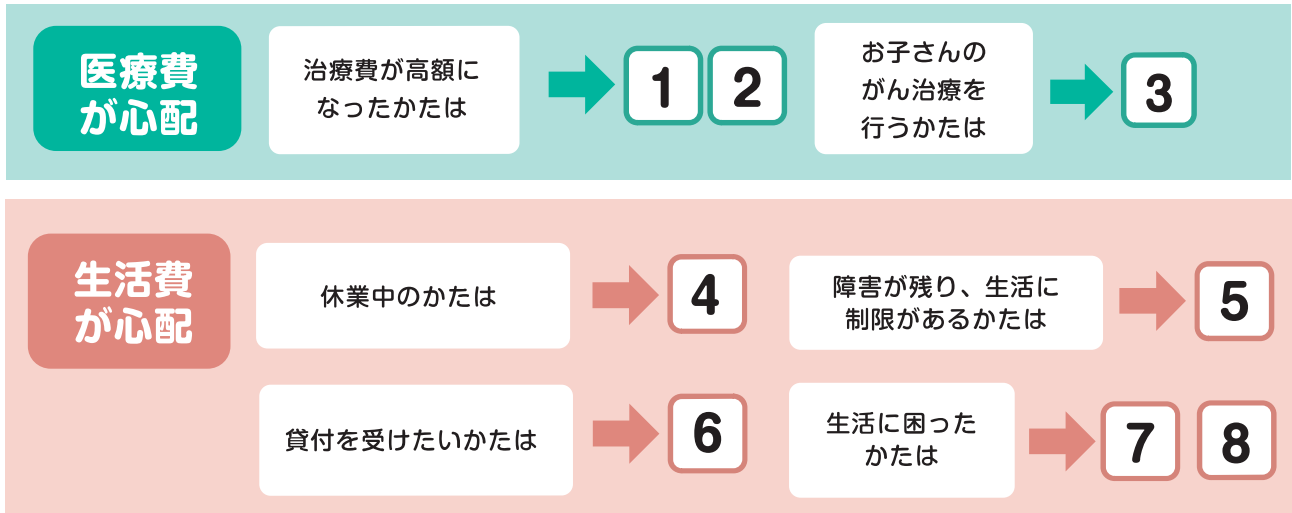
Q：仕事の相談は、会社やハローワークでないとできない？

A：医療機関でも相談が可能です。がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターでは、がん専門相談員が患者さんの仕事と治療の両立に関する相談に対応することが義務付けられています。主治医や会社関係者との橋渡しを行ったり、状況によっては、院内外の社会保険労務士等、労働問題の専門職との連携を取りながら支援を行っています。患者さん自身が仕事を辞めるという決断をする前に、一度立ち止まって、まずは、ご相談いただければと思います。

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
サポーターケアセンター／がん相談支援センター

4 経済面での各種支援について

ご自身の置かれている状況によって、経済的な支援を受けることができます。
 まずはご自身の心配ごとに対応する番号を確認し、次の図を確認しましょう。



類型	制度	概要	
医療費	1 高額療養費	問合せ先	・ 社会保険のかたは、加入している健康保険組合等へ直接 ・ 柏市国民健康保険・千葉県後期高齢者医療制度のかたは 柏市保険年金課 ☎04-7191-2594
		対象者	被保険者・被扶養者（社会保険のかたのみ）
		内容	1か月に支払った医療費が自己負担限度額を超えたとき、その超えた額が支給される制度です。 ※事前・事後に申請が必要な場合があります。
	弾性着衣購入の療養費申請	問合せ先	・ 社会保険のかたは、加入している健康保険組合等へ直接 ・ 柏市国民健康保険・千葉県後期高齢者医療制度のかたは 柏市保険年金課 ☎04-7191-2594
		対象者	被保険者・被扶養者（社会保険のかたのみ）
		内容	申請により、リンパ浮腫治療のための弾性着衣の購入費の一部が療養費として支給されます。
2 医療費控除	問合せ先	柏税務署 ☎04-7146-2321	
	対象者	確定申告を行った納税者	
	内容	1年間に一定以上の医療費の自己負担があった場合に、税金を軽減します。医療費控除を受けるには、会社などの年末調整とは別に、自分で確定申告をする必要があります。	

類型	制度	概要	
医療費	3 小児慢性特定疾病の患者に対する医療費助成	問合せ先	柏市母子保健課 ☎04-7167-1257
		対象者	申請時に18歳未満であり、がん等の小児慢性特定疾病基準に該当する児童等※18歳到達後も引き続き治療が対象基準に該当する認められる場合は20歳になる前日まで認定継続可能
		内容	小児慢性特定疾病基準に該当する児童等の医療費の一部を助成します。医療費助成の申請には医療意見書の添付が必要となりますので主治医と相談の上、申請をご検討ください。その他、自立支援員による相談窓口もご利用いただけます。
生活支援	4 傷病手当金	問合せ先	協会けんぽ、健康保険組合などの担当窓口
		対象者	社会保険の被保険者で、傷病のために会社を休み、事業主から十分な報酬を得られない者（ただし任意継続の被保険者は対象外）
		内容	会社員や公務員などが療養のために労務に服することができないときに、生活を支えてくれる制度です。給料がもらえない場合等に、ある程度の収入を保証します。支給期間や対象条件は加入している社会保険によって異なります。
生活支援	5 障害年金 (障害基礎年金・障害厚生年金・障害共済年金)	問合せ先	<ul style="list-style-type: none"> ・ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165 ・松戸年金事務所 ☎047-345-5517 ・街角の年金相談センター柏 ☎04-7160-3111 ・柏市国民年金室 ☎04-7167-1130
		対象者	国民年金若しくは厚生年金保険の被保険者期間若しくは60歳から65歳までの間に障害の原因となった傷病の初診日があり一定の保険料納付済期間等を有する者又は20歳未満に初診日がある者であって、障害等級1級又は2級（厚生年金保険の被保険者等は1級、2級、3級若しくは障害手当金のいずれか）に該当する者
		内容	病気やけが等により障害者となり、日常生活に制限を設ける状態になった時に支給される年金です。人工肛門造設や咽頭摘出術を受けたかた、がん等の場合も受給できることがあります。障害基礎年金は障害の程度によって1級と2級に分かれ、障害厚生年金などは1～3級まであります。
生活支援	6 福祉資金貸付	問合せ先	柏市社会福祉協議会 ☎04-7163-1234
		対象者	資金ごとに要件が異なるため詳細はお問い合わせください。
		内容	所得の低い世帯を対象に、生計の維持が困難になった時に一時的に資金をお貸しする福祉資金貸付制度と、用途別に貸付対象や限度額の設けられた生活福祉資金貸付制度があります。
生活支援	7 あいネット (地域生活支援センター)	問合せ先	あいネット ☎04-7165-8707
		対象者	生活のことで悩みを抱えているかた
		内容	生活のことや経済的な心配などの困りごとを相談することができます。（相談料無料）
生活支援	8 生活保護	問合せ先	柏市生活支援課 ☎04-7167-1138
		対象者	生活費や医療費に困っている世帯
		内容	病気で働けなくなったり、さまざまな事情から生活費や医療費に困っている世帯に対し、その程度に応じて国の定めた基準に基づき、生活保護費として支給を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を支援する制度です。

5 役立つ情報一覧①

① 患者会・がんカフェ

患者会・がんカフェとは、同じ病気や症状、障害など、何らかの共通する患者体験を持つ人たちが集まり、自主的に運営する会のことです。お互いの悩みや不安を共有したり、情報交換をしたり、会によっては患者さんのためのさまざまなプログラムも用意しています。

柏市周辺の患者会情報

患者会・がんカフェ名	連絡先	活動日	活動場所	対象
東京慈恵会医科大学附属柏病院 「慈恵Aloha(あろは)会」	04-7167-9739	第2木曜日 (日程要確認)	院内・WEB	がん全般 (院内・院外の患者・家族)
国立がん研究センター 東病院 各種患者教室	04-7134-6932	ホームページ参照(※1)	院内・WEB	がん全般 (院内・院外の患者・家族)
松戸市立総合医療センター がん患者家族「集いの場」	047-712-2511	ホームページ参照(※2)	院内会議室	がん全般 (院内・院外の患者・家族)
おおたかの森レモネードの会 柏市がんカフェプラス	080-1838-6447 otakanomori.lemonade@gmail.com	第2水曜日 (月により第一水曜) 10:30~12:30	カフェベジブル高田 (すくすくハウス隣)	がんや障がいに関わる方などたても
社会福祉法人ぶるーむ 風らっとるーむがんカフェ	04-7128-4135	第1水曜日 13:00~15:00 (ホームページ参照)(※3)	ぶるーむカフェ	がん全般の患者・家族、他
がんサポートコミュニティー 柏サポートグループ	03-6809-1825	第1・第3水曜日(※4)	チコルベース(※5)	がん全般
ウイメンズブレイクタイム	080-3608-1628	不定期 ホームページ参照(※6)	パレット柏など	女性がん患者

(※1)

国立がん研究センター
東病院 各種患者教室
ホームページ⇒
https://www.ncc.go.jp/jp/nccc/division/supportive_care_center/info/seminar/patient_classroom/index.html



(※2)

松戸市立総合
医療センター
ホームページ⇒
https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/torikumi/event_seminar/index.html



(※3)

社会福祉法人
ぶるーむがんカフェ
ホームページ⇒
<https://www.bloom.or.jp/pages/66/#block340-311>



(※6)

ウイメンズ
ブレイクタイム
ホームページ⇒
<https://womensbreaktime.com/>



(※4・5) 令和8年4月以降、活動場所が変更となる可能性があるため、参加希望の場合は事前にご連絡ください。
☎03-6809-1825

② グリーフケア

グリーフケアとは、大切な人をなくされて、大きな悲嘆(グリーフ)を感じているかたへのサポートのことです。また、グリーフケアの技法はターミナル期の患者さんやそのご家族のかたにとっても有効です。

認定NPO法人とうかつ・生と死を考える会 ※柏市内外7ヶ所で月8回「痛みの分かち合い」の会を開催。
柏グリーフケア・センター(柏市南柏1-5-14南柏会館7階) ☎04-7141-2440 ✉mitsui@grief-care.com

痛みの分かち合いの会(グリーフケア)とは

認定NPO法人とうかつ・生と死を考える会ホームページ
<https://grief-care-kashiwa.amebaownd.com/>



「痛みの分かち合いの会(グリーフ・ケア)」は愛するご家族・ご友人など身近なかたを亡くされた方、喪失体験をしたかたたちの心の痛みを分かち合う会です。グリーフについて経験を積んだボランティアスタッフが個別またはグループで、つらく悲しいこと、誰にも話せないようなことをお聞きます。

何でも自由に話してください。亡くなるまでの様子・故人の思い出・医療現場で起こったこと・会社のこと・交友関係・兄弟姉妹のこと・親子関係のこと・葬儀のこと等なんでも結構です。話すことで心が癒されたり、問題が整理されたり、背負っていたものから自由になり気が楽になることがあります。また前向きな気分になり明日への活力がわくということもあります。

各会場の開催名は様々ですが、進行方法はほぼ同じとお考えください。また参加者は会場によりませんが、3名~6名程度で、繰り返しの参加も可能です。

また大切な人を亡くした子どもたちを対象とした「子どもグリーフサポートの集い」も行っています。

※特定の宗教団体や政治団体と関係なく進められています。安心してご参加ください。

役立つ情報一覧②

③ インターネットでがんに関する情報を知ることができます

国立がん研究センター
「がん情報サービス」



国立がん研究センター
希少がんセンター



(公財) 神戸医療産業都市推進機構
医療イノベーション推進センター
「がん情報サイト」



(公財) 日本対がん協会



(公財) 日本対がん協会
「がんサバイバー・クラブ」



NPO法人日本緩和医療学会
「緩和ケア.net」



千葉県がん情報 ちばがんナビ



千葉県がん情報 ちばがんナビ
小児がん拠点病院について



AYA世代の方へ
(15歳から30歳代)



「患者必携 がんになったら
手にとるガイド」



リレー・フォー・ライフ・ジャパン
地域でがんに向き合う



④ 図書館で情報を収集することもできます

「がん情報ギフト」

○編著・発行：国立がん研究センター がん対策情報センター

※柏市立図書館 本館・こども図書館にてご覧いただけます。

役立つ情報一覧③

市役所の相談窓口

相談内容	担当課	電話番号
在宅医療に関すること	地域医療推進課	04-7197-1510
介護保険の申請に関すること	高齢者支援課	04-7167-1134
地域包括支援センターに関すること	地域包括支援課	04-7167-2318
小児がん医療費の助成に関すること	母子保健課	04-7167-1257
がん検診に関すること	健康増進課	04-7168-3715
本誌の内容に関すること	健康政策課	04-7167-1171

柏市のがん対策まとめサイトはこちらから→



千葉県がん診療連携協力病院

千葉県では、県民が身近な地域で質の高いがん医療を受けられるよう、がん診療連携拠点病院に準じるがん診療を行っている病院を「千葉県がん診療連携協力病院」として指定しています。かかりつけ医等との連携強化、がん診療水準の向上などを図っています。

各病院に通院・入院中の患者さんと、その家族の相談に応じています。



看護師・ソーシャルワーカー等が、面接や電話でのご相談に応じています。

近隣の千葉県がん診療連携協力病院（R8.3.31現在）

・ 柏厚生総合病院（胃・大腸がん）	場所：柏市篠籠田617	☎04-7145-1111
・ 千葉西総合病院（胃・大腸・肝・胆・膵がん）	場所：松戸市金ヶ作107-1	☎047-384-8111
・ 新松戸中央総合病院（肺・胃・大腸・肝・胆・膵がん）	場所：松戸市新松戸1-380	☎047-345-1111
・ 新東京病院（胃・大腸・肝・胆・膵がん）	場所：松戸市和名ヶ谷1271	☎047-711-8700
・ 野田総合病院（胃・大腸がん）	場所：野田市横内29-1	☎04-7124-6666

災害時医療について

薬や在宅医療機器などの治療に関する情報と、主治医などの緊急時連絡先がすぐわかるよう、情報を一ヶ所にまとめておきましょう。

クイズ 5

がんになっても、あきらめない！

私の妻は現在48歳。36歳で乳がんになり、片胸の1/4程切除しました。当時は年齢も若かったのですが、がん細胞も若さに便乗するのではと再発に怯えたものでした。しかし側に寄り添う者としては、一緒に怯えてはいけないと思い、弱った妻を叱咤激励しつつ、妻の趣味のテニスと一緒に没頭。さらに、アウトドア好きな我が家はスキー、キャンプ、登山等、自然からのパワーを貰い、とにかく人生を楽しみ、細胞から元気にしなくてはと、気持ちが元気になることを優先しました。

40もすぎて切願の子供は思うように授からなかったため、夫婦2人で「楽しむだけ楽しんで太く短く行こう」なんて冗談混じりに話していたのですが、47歳のある日、突然思いもよらず念願の女兒を自然妊娠にて授かりました。6/1000%の奇跡だそうで、夫婦2人今でも信じられないです。人生何があるかわからないものですね。意志あるところに道は開けると言いますが、正にそんな出来事のように思います。

妻の発病後、これで良いのか？と立ち止まる事も、沢山ありましたが、あれこれ悩みながらもネガティブにふけること無く人生楽しみ続けた結果、年甲斐もなく授かる事が出来たようにも思います。今となってはこの歳で子宝に恵まれた以上、何が何でも太く長く生きなくてはいけなくなりました。老後なんて言ってもらえません。今では夫婦2人で子供から絶大なパワーを貰って日々奮闘、父母娘共に明るく新しい人生のスタートです。(柏市に通院する患者さんの夫)

～おわりに～

柏市では「がんになってもその人らしく、住み慣れた地域で安心して暮らせること」を
.....
お手伝いさせていただくために、柏市内の相談窓口を中心に、サービスの提供者がわかる
.....
ように情報をまとめました。

患者さんやご家族が困っていることや不安に思っていることに寄り添い、支えることの
.....
助けとなることを目指し、さまざまな制度や情報について、相談先を明記し、必要な情報
.....
にたどり着けるような「案内本」としてご活用いただきたいと思います。あなたやご家族
.....
のみなさまが安心して暮らせることにお役立ていただけましたら幸いです。



作成協力機関

- がん診療連携拠点病院
国立がん研究センター東病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
- がん診療連携協力病院
柏厚生総合病院
- 柏市医師会

柏市民のためのがんサポートハンドブック

平成24年3月 初版発行

令和 8年3月 第14版発行

編集・発行／健康医療部健康政策課

〒277-0004 柏市柏下65-1ウェルネス柏

☎ 04-7167-1171
